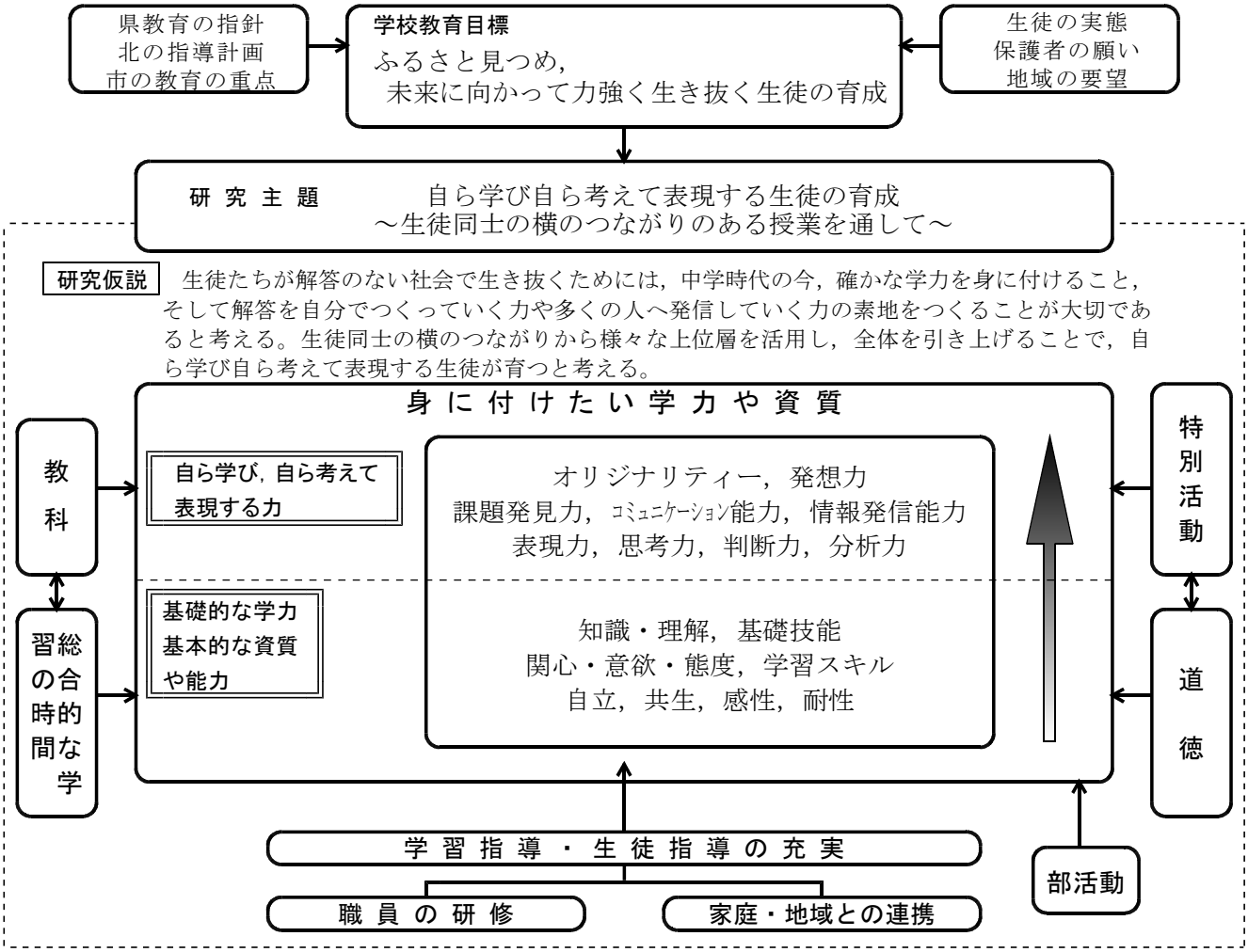
4　平成 29 年度　能代第一中学校　研修全体計画



重点実践

1　生徒同士の「横のつながり」のある授業・活動
2　全体で引き上がっていくために上位層を活用する授業・活動
3　認め合う場面による自己有用感を高める授業・活動

具体的な実践事項

①生徒同士の横のつながりで学びを深化させる。
- 生徒と教師との一問一答ではなく，生徒を起点として，生徒から生徒へと広がっていく学び合いをコーディネイトし，振り返りから生徒の学びを見取る。
- 各学習活動において上位層を活用し，よいものから学ぶことで全体を引き上げる。

②生徒の学ぶ意欲を引き出すためのきめ細かな授業の創造に努める。
- 生徒が主体的に活動する場面や，思考・判断，意志決定する場面を毎時間の授業の中に多く設定し，表現活動を通して，他から認められる経験を積ませる。
- 生徒にとって必要感のある，わくわくするような課題を設定し，「分かった」「笑い（笑顔）」のある授業を構成する。
- 互いの授業を参観し合い，チームを意識して授業力を高め，日々の授業を実践する。

③各教科における基礎・基本を明確にし，学習内容の確実な定着を図る。
- 本時のねらいを明確にし，その達成状況を把握するために，学習のまとめや振り返りの時間を大切にする。
- 「学習マラソン」や「横につながるノート」を全校で行い，家庭学習の習慣･仕方等への指導に生かす。

④生徒個々の学習状況に応じた学習指導の工夫・改善に努める。
- 校内の授業アンケートや授業力向上期間等，状況把握の手立てを工夫し，授業改善に生かす。
- 全国学力・学習状況調査や秋田県学習状況調査，高校入試等を分析し，既習事項の復習や反復を計画的に行う。